

高松学習館運営協議会（令和3年2月）会議録概要

開催日時 令和3年2月24日（水曜日）午前9時30分～午前11時00分

開催場所 高松学習館 第2教室

出席者 [委員] 神山敬章（明星大学常勤教授）

小林理哉（社会福祉協議会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

有本悟（高松児童館）

橋本登（立川市市民交流大学推進委員会）

小倉亮一（立川市市民交流大学推進委員会）

難波敦子（学習館利用団体）

栗原政子（学習館利用団体）

結城まり子（学習館利用団体）

欠席 2名

[事務局] 石井孝（高松学習館係長）、富田瑞代（高松学習館市民嘱託）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 会長あいさつ

- ・おはようございます。緊急事態宣言発令中で学習館の夜間利用が制限されたため、1月会議は中止となった。公共施設はそういう流れで2月は日時を変更して本日午前に会議開催する形となった。感染者数は落ち着いてきており、今後徐々に制限が解除されると思うが、感染症対策や予防策がどこまで取れているか、あまり聞こえてこないのが不安でもある。ワクチンが最終手段かどうか不明。神山先生には越境で来館いただくことになるので、リモートで参加予定だったが今回は直接お出でいただいた。リモートはだんだんと自治会でも浸透してきている。社会福祉協議会は先行してzoomで会議を実施している。新しい生活様式ということで、学習館運営も変わっていく面があると思うので、ぜひ皆さんのお知恵を拝借しながら進めていきたい。

2. 報告事項

○事務局より

- ・地運協報告書（第5期）配布：他館の報告にもぜひ目を通していただきたい。
- ・寿教室「新年のつどい」：例年競輪場集合棟の大広間で実施するが、コロナ禍で中止となった。発注したお弁当とお菓子を学習館まで個々に取りに来てもらった。今年度会費は余剰が出るので、3/17修講式の日、継続手続きと併せて会費還元として市のごみ袋を会員に進呈する予定。
- ・新春高松落語会：当日は司会、受付等は地運協委員が担った。アンケート集計結果は概ね好評だった。次年度も実施予定。出囃子と送り囃子の担当スタッフが必要という意見があった。アンケートで高齢者の方で耳が遠く聞こえにくいという回答があった。ポータブル・アンプだと音が割れて聞きづらいので、視聴覚室のスピーカーシステムを活用したらどうかという提案があった。人数制限があって一体となって楽しめてよかったという感想があった。

- ・代表者会議：1月夜の会議は中止となった。地運協代表者の連絡会で市民推進委員会の会長と市民リーダー会の会長も参加して立川の生涯学習関係の代表者の集まりとなる。次年度も継続して高松が担当する。
- ・市民科講座「新田砂川を訪ねて」ブックレット発行にあたり、表紙の写真候補の投票展示をしている。市民の方の投票で表紙の写真を採用する。

3. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

(2) 誰でもコンサート（幸学習館運営協議会と共催）

- ・当日配布するパンフレットとアンケートの内容について確認した。趣旨である「立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」の前文を載せて参加者にも知ってもらう機会とした。コロナ禍で施設の方達の申込はなかった。当日スタッフの役割分担とタイムスケジュールについて事務局より説明があった。1部（大人向け）と2部（子ども向け）の入替りの時に椅子等を消毒する。参加者、スタッフも上履き持参。当日スタッフ（高松）：梅田会長、難波副会長
- ・資料作成にあたり、いつ、どこで、作成経過がわかるようにしてほしいという要望があった。ヘッダーを使用して、例えば改訂したら、Rev.1 というように整理しやすいように作成してほしいとの意見があった。会議名と印刷日を自動的にアップデートできるので改善していくことになった。
- ・会場のさかえ会館の入口にサーモカメラが設置されている。大きなテレビ画面が置いてある。受付のスペースは限られる。

(3) 事業検討

- ・今年度実施事業と次年度実施予定の事業一覧を配布した。例年5月開催の高松学習館文化祭作品展のあり方について協議された。今年度はコロナで中止。
- ・6月演奏会は延期（時期未定）、公開教室は6月中に7団体の個別実施となる。
- ・作品展については、感染症対策を講じた上で実施する方向で進めているが、地運協ワークショップについてどうするか協議することになった。
 - 例年はお茶菓子をふるまいながら参加者から学習館への意見や要望をお聞きするワークショップを実施しているが、飲食を伴うため、代替案として、事務局より立川市民科講座「新田砂川を歩く」展示などの提案があった。
 - 昨年度に集客効果を期待して話が進んでいた「0円ショップ」や「フードバンク」の実施について協議された。コロナ禍での社会福祉協議会の取り組みの実状について話を聞いた。新しい来館者の期待はできるかもしれないが、コロナ禍で新たに人を集めるのはどうか、例年でもそれほど密になるような来館者数ではない。フードバンクに併せて市民相談会のようなことも実施は可能かもしれない。絶好の宣伝の機会にはなるが、時期的にどうか。
 - 利用者懇談会の代わりに作品展準備会を実施しているので、ワークショップがない場合は利用者の意見や要望を集める機会が設けた方がいいのではないかと。例えば、幸学習館では、入口近くに意見箱と紙が置いてある。そういうものを普段から設置して置いたらどうか。
 - 9月のアール・ブリュット展に合わせて、「0円ショップ」や「フードバンク」を実施できるのではないかとという話が事務局よりあった。

- 今回の作品展では作品の実費頒布はしない、当番も1人で、設営撤去も職員だけで実施する、作品搬入は時間帯で分けるなど、密にならないように組んでいる。2年続けての作品展中止は避けたいので、可能な限り感染症対策をしていく方向。参加団体数は減少すると思われるが、作品発表を望んでいる団体が少なくないと思う。
- 児童館でもクリスマス会などのイベントは規模を縮小して実施している状況。子ども達の工作も館内で展示するくらいにして密にならないように取り組んでいる。
- 他市での社会教育の事業は、できる範囲で拵げないように実施している状況。文化祭については計画が行き当たりばったりにならないか危惧がある。いつの時点で最終決定されるか、第4波を予測する人もいる。春の段階は厳しいので大きなイベントは秋に延期しているケースも多く聞かれる。5月の段階で実施するのであれば、展示物関係は密にはならないから入場制限を図れば作品の展示は可能だと思う。演奏会等のイベント実施は厳しいし、極力やらないようにしている。教育委員会単位で考え方が異なり、これは恐々実施していいのか、何もないと実施して良かったとなる。何かあった時には全てが泥に塗られてしまうことは避けた方がいいと思う。

先ほどの0円ショップ、フードバンクもいい企画だが、福祉協議会がするというスタンス。学習館が主催に加わってくると市の福祉計画の部分とで学習館の活動と齟齬がないか。相談コーナーもいいが、ボランティアで実施すると個人情報漏洩の問題も出てくる。子ども食堂も高齢者が有料で利用できるような地域の支援体制が広がりつつある。NPOと社会福祉協議会のリンクと、学習館ができる範囲の領域の部分で支援をして形づくり、まちづくりにという方がスムーズにいくのではないかと思う。できる部分からやってあまり拵げないということがコロナ禍の社会教育の進め方として聞こえてくる。
- 市民リーダー会の展示会は手を挙げた人達で実施した。終了後もしばらく心配だったが、何もなくて良かったという感じ。大半は知り合いの方に来場していただいたが、新しい方には念のため連絡先をお聞きした。手指消毒等の感染症対策は実施したが、絶対ということはない。学習館作品展は参加団体のメンバーが中心なので新しい方はそれほど来場されない。手指と備品の消毒、検温、入場制限(密にならない)の他に連絡先を聞いておく必要があるかどうか。
- コンサート開催に関しては、リモート、無観客、youtube配信など、いろいろな形で今後出てくると思われる。
- 他の学習館ではどのような対応をしているか。幸学習館のかわせみ祭で学生さん達とのコラボで実施されていたが、来場者の連絡先を聞いていたかどうか。
- 学習館利用団体については各団体の参加者の連絡先は団体で把握してもらっており、学習館から個人情報を直接お聞きすることはしていない。学習スペースは個人ブースになっているため、濃厚接触にあたらぬと判断し、連絡先はお聞きしていない。作品展に関しては、もちろん、マスク着用、手指消毒、検温実施は徹底するが、来場者は濃厚接触にはあたらぬと思われるので連絡先をお聞きすることは考えていない。作品展準備会は広い視聴覚室で開催し、パネル設置、撤収等の作業は職員のみで実施する。演奏会の方は、密集するので6

月実施は考えていない。

- マスク着用、手指消毒、検温はもちろん、感染症対策を全員に徹底させるということであれば、準備会までに実施要項の他に作品展実施における感染症対策マニュアルを明文化した方がいいという指摘があった。来場者は例年サークル関係者がほとんどで殺到することはない。事務局で感染症対策、ルールを明文化し、次回会議で内容について確認することになった。作品展は濃厚接触になるような形態でなく、例年多数来場する傾向はないため、個々の連絡先を確認するまでに至らないのではないかと。次回会議で再度確認することになった。

4. その他

- ・次回会議日程について 日中の開催希望が多いため日程変更することになった。令和3年3月24日(水)午前9時30分～11時 高松学習館 第2教室
※令和3年4月以降の開催日程についても調整することになった。

5. 地域課題共有(地運協運営状況) 時間の関係で省略

以上